

報道関係各位

【プレスリリース】

2026年2月18日（水）

計4枚

株式会社スペースシフト

スペースシフト、JAXA「第4回地球観測研究公募（EO-RA4）」に採択

— ALOS-4 データを用いたアルゴリズム開発を推進 —



株式会社スペースシフト（本社：東京都千代田区、代表取締役：金本 成生）は、

宇宙航空研究開発機構（JAXA）第一宇宙技術部門 地球観測研究センター（EORC）

が実施する 「第 4 回地球観測研究公募（Research Announcement on the Earth Observations: EO-RA4）」において、当社の研究提案が採択されたことをお知らせします。

■ 第 4 回地球観測研究公募（EO-RA4）とは

第 4 回地球観測研究公募（EO-RA4）は、JAXA が保有する地球観測衛星データを活用し、利用研究、利用実証、ならびに社会実装に資する研究を推進することを目的とした公募です。

本公募では、衛星固有のアルゴリズム開発や標準プロダクトの高度化に加え、地球システムの総合理解および社会実装に向けた課題解決に貢献する研究テーマが対象とされています。（詳しくは [JAXA 公式ページ](#) をご覧ください）

■ 採択テーマについて

本研究では、JAXA が提供する先進レーダ衛星「ALOS-4 PALSAR-3」の観測データを活用し、地球観測データの利用高度化に向けたアルゴリズム開発に取り組みます。

研究テーマの項目は、「標準プロダクトの校正・検証」という ALOS-4 PALSAR-3

のより本質を引き出せるような実験テーマで採択されました。

衛星データ解析技術の高度化を通じて、地球環境のより正確な把握や社会課題解決に資する地球観測データの利活用促進を目指します。

■担当者コメント

JAXA 様より貴重な御機会を頂きまして、ありがとうございます。

引き続き社会貢献になるような研究結果を公開、提供していきたいです。

また、高度な信号解析や地球物理学での研究経験を本研究にも還元して、スペースシフトならではのビジネス展開に繋げていきます。

PI (代表研究者) 安井 秀輔

【スペースシフトについて】

2009 年 12 月設立。「 Sense the Unseen from Orbit (地球上のあらゆる変化を認識可能に) 」をテーマに、地球観測衛星から得られたデータを解析する AI の開発を行っています。インフラ管理、防災・減災、農業、環境保全など、様々な分野で活用可

能な衛星データ解析パッケージ「SateAIs（サテアイズ）」を展開。また、事業共創プログラム「SateBiz（サテビズ）」を通じて、衛星データを用いた持続可能な社会の実現を目指しています。

会社名：株式会社スペースシフト（英文表記：Space Shift Inc.）

代表者：代表取締役 金本成生（かねもと なるお）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 6 階

設立：2009 年 12 月 11 日

資本金：703,990,750 円（資本準備金含む）

URL：<https://www.spcsft.com/>

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社スペースシフト（担当：安井・津田谷）

お問い合わせ：<https://share.hsforms.com/1-fFRnQR2QwW3czOTCAanQ5m0z8>

E メール：pr@spcsft.com